



福岡市立舞鶴中学校

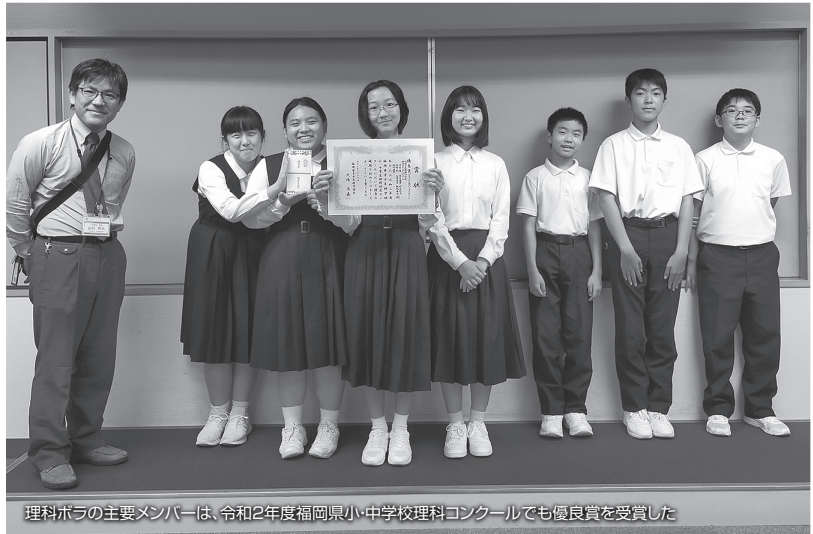
西公園のピロウを天然記念物に申請しよう!

科学好きの“たまり場”の大発見

成果発表会で日経サイエンス賞を受賞

2020年、福岡市立舞鶴中学校の理科ボランティア研究チーム(理科ボラ)は、学区内の県営西公園でヤシの木と登録されていた植物が、実は古代の重要な祭祀植物「ピロウ」であることを遺伝子検査で突き止めた。翌21年には、西公園のピロウの一群が玄界灘の小呂島や能古島、長崎県の天然記念物である平戸市のピロウと遺伝的に同じものであることを発見。江戸時代、西公園には世界遺産・沖ノ島(日本最北端のピロウ自生地)を望む通拝所が設置されていたことから、「祭祀目的で植えられたものではないか」と提起している。

この歴史ロマンにも迫る研究により、理科ボラは2021年度の中谷財団・成果発表会で「日経サイエンス賞」を受賞し、地元の西日本新聞でも紹介された。



理科ボラの主要メンバーは、令和2年度福岡県小中学校理科コンクールでも優良賞を受賞した



何度も練習を重ねた中谷財団成果発表会でのプレゼン

生徒と科学の雑談ができる場

2021年度の成果発表会でプレゼンをした2年生の西嶋弥さんと狩生悠太さんは、「何度も練習したことで、苦手だった人前での発表ができました」と言う。ただし、理科ボラは正式な部活動ではない。理科の山口哲也教諭が募った授業の実験補助ボランティアで、メンバーが来たいときに理科室に集まる“放課後のたまり場”的な存在だ。

「授業や生活指導以外に、生徒と科学の雑談を楽しめる場が作りたかった」と言う山口教諭の思惑どおり、主要メンバーは異口同音に「楽しそうだったから」と参加理由を話す。こうした雰囲気の中、現3年生の津田環さんたちは、1年時にピロウの遺伝子検査に必要な資金を集めるべく複数の助成事業に応募。中谷財団に採用され、ピロウの同定に至った。3年生の爲房遼香さんは、今後の目標である天然記念物指定を実現するためにも、「理科ボラにたくさん参加してほしい」と後輩たちに呼びかけていた。(個別助成)



他のヤシ科と見分けが難しいピロウ



西公園でのピロウ調査の様子
研究開始のきっかけは、山口教諭がピロウらしき植物を見つけたこと

●実施担当

山口哲也 教諭

●活動のモットー

誰もやったことがない研究をすること。成功するかどうかはわからないが、それが研究で一番面白いことだから。



学校概要



「自主」「勤勉」「友愛」を校訓とする。2014年に近隣の3小学校と統合して、施設一体系の小中連携校となっている。

設立: 1947年

生徒数: 268人

所在地: 福岡市中央区舞鶴2丁目6-1

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索